

パキスタン

2018年度 内部事後評価報告書
海外投融資「パキスタン貧困層向けマイクロファイナンス事業」

評価実施部署：JICA 民間連携事業部

1. 事業の概要



畜産・酪農業を営む FMFB-P 顧客



FMFB-P Kamalabad Branch の外観

1.1 事業概要

本事業は、出資を通じて、The First MicroFinanceBank Ltd.-Pakistan（以下、「FMFB-P」）の業務を拡大すると共に、安定的経営を実現することにより、パキスタンの貧困層に対する金融サービス提供の拡大を図り、もって貧困層の生活基盤の安定に寄与することを目的に実施された。2012年3月、JICAはFMFB-Pに出資する契約を締結した。

2. 調査の概要

2.1 評価実施部署

JICA 民間連携事業部

2.2 調査期間

今回の事後評価にあたっては、以下のとおり調査を実施した。

調査期間：2018年12月～2019年12月

現地調査：2019年4月23日～4月30日

2.3 評価の制約

特になし。

3. 結論

パキスタンにおいては、民間セクター開発や貧困削減の対策として同国政府を挙げて金融アクセス向上に取り組んでいることから、本事業とパキスタンの開発政策との整合性は高い。潜在需要も含めてマイクロファイナンスに対するニーズが引き続き高い水準で存在すること、近年のマイクロファイナンスセクターにおけるデジタル化推進への対応やマイクロファイナンスユーザーに対するきめ細やかなサポートの必要性からも、本事業とパキスタンの開発ニーズとの整合性は高い。本事業は、審査時の日本の援助政策とも整合している。

有効性・インパクトの評価について、貸付人数、貸付総額等の主要指標の水準は年々向上しており、事後評価時点で目標値が達成されている。財務・経済分析の結果、投下資本利益率（ROIC：Return on Invested Capital）及び経済的投下資本利益率（EROIC：Economic Return on Invested Capital）は加重平均資本コスト（WACC：Weighted Average Cost of Capital）を下回っているものの、FMFB-Pの業況は急速に改善・拡大しており、その収益性や経済的便益は改善している。また、借入人からのヒアリングによると、FMFB-Pが提供する金融サービスに対する満足度は総じて高く、FMFB-Pによる融資を通じて、貧困層の小規模ビジネスの拡大、収入の向上が実現されており、FMFB-Pは、その事業の拡大を通じて、パキスタンの貧困層の生活基盤の安定に貢献している。

事後評価時点においてJICAは出資から退出していないため、効率性は評価の対象外とした。

持続性の評価について、十分な人員が確保され、ガバナンス・リスク管理体制は強固であり、体制面での持続性は確保されている。勘定系システム（Core Banking System）の導入等、業務効率化に取り組むとともに、支店のローンオフィサーは審査・案件監理に必要な能力を有し、また、FMFB-Pではそのための人材開発体制にも取り組んでいることから、技術面での持続性は確保されている。業況は、拡大・改善しており、財務の健全性も強化されていることから、財務面での持続性は確保されている。

以 上

・本評価結果の位置づけ

本報告書は、より客観性のある立場で評価を実施するために、外部評価者に委託した結果を取り纏めたものです。本報告書に示されているさまざまな見解・提言等は必ずしも国際協力機構の統一的な公式見解ではありません。本報告書は、国際協力機構又は外部評価者による法務、会計、税務その他の専門的な助言又はサービスの提供を意図しているものではありません。国際協力機構又は外部評価者は、本報告書に掲載されている全ての情報について完全性、正確性、適時性を保証するものではなく、情報の誤り、欠落、掲載されている情報の使用に起因して生じる結果に対して一切の責任を負わないものとします。いかなる場合にも国際協力機構の役職員及び外部評価者は、本報告書に掲載されている情報に基づいて行われた決定又は採用された措置に関して、いかなる方に対しても一切の責任を負いません。また、外部評価者と国際協力機構あるいは事業実施主体等の見解が異なる部分に関しては、国際協力機構あるいは事業実施主体等のコメントとして評価結果の最後に記載することがあります。本報告書に記載されている内容は、国際協力機構の許可なく、転載できません。